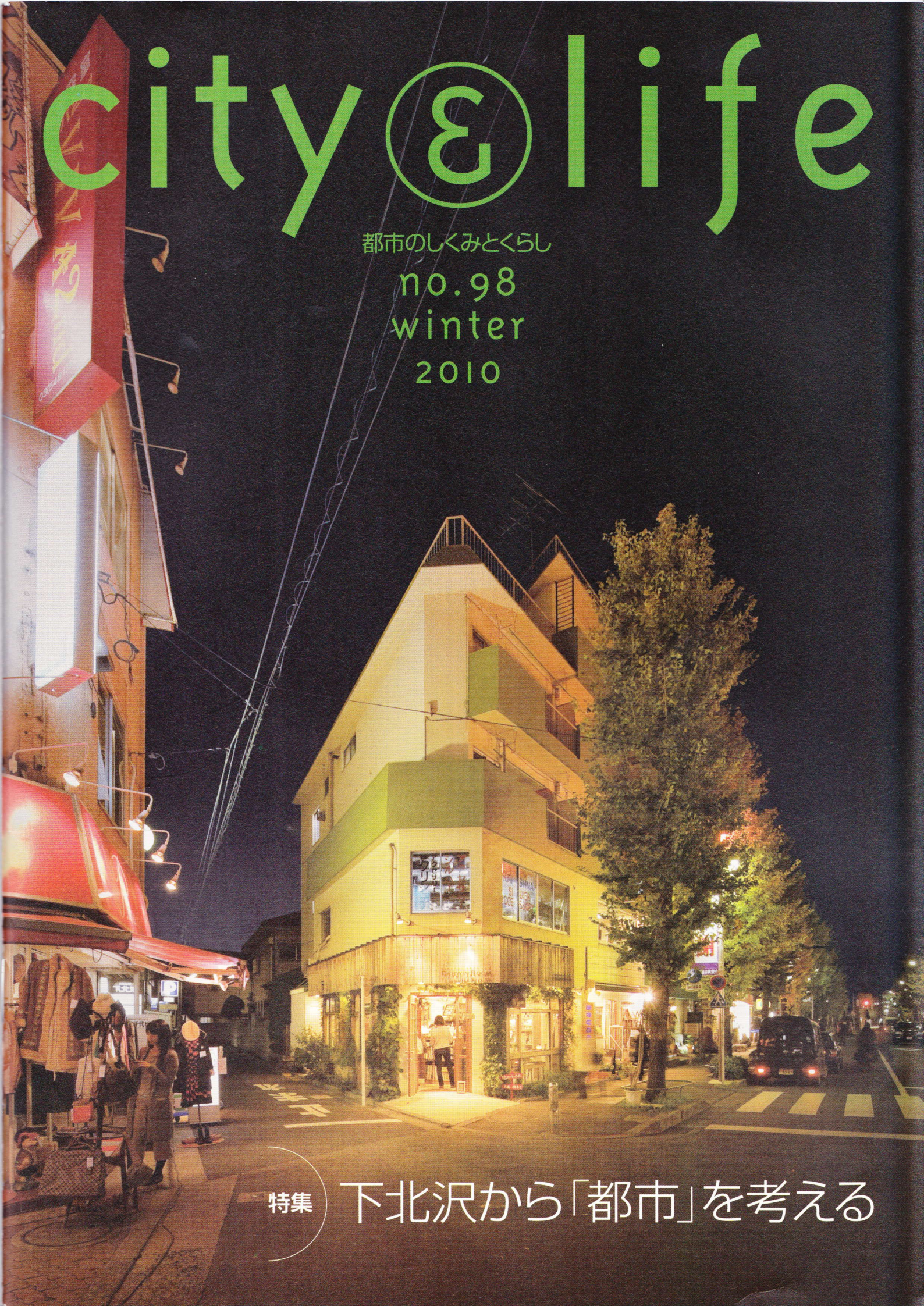
city & life

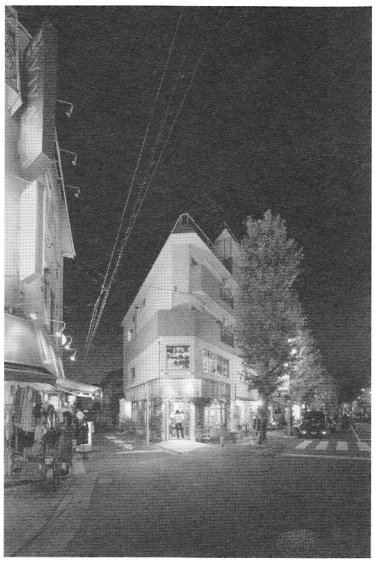
都市のしくみとくらし

no.98
winter
2010



特集 下北沢から「都市」を考える

city&life no.98 winter 2010



表紙――世田谷区代沢5丁目
裏表紙――「DARWIN ROOM」店内から
（関連記事：p23）
グラビア―ヨルノシモキタ（p9, p18, p31）
photo：高橋 昇

特集　下北沢から「都市」を考える

contents

シモキタのツボを読む

1.都市史からみたシモキタ 日端康雄 4
2.地形図で観察するシモキタ……台地と谷戸に昔の細道が残る街 今尾恵介 10
3.商業地としてのシモキタ、魅力の解析 服部圭郎 14
4.道の履歴から読む下北沢の魅力 二瓶正史 20
5.全体×レイヤーモデルで下北沢の強みを読む 饗庭 伸 24
6.吉祥寺からみたシモキタ 渡 和由 27
7.パリ市第21区シモキタザワ界隈プラン……パリ／シモキタ、オーダー・メイド的都市 鳥海基樹 32
8.コミュニティビジネスとシモキタ 林 泰義 36

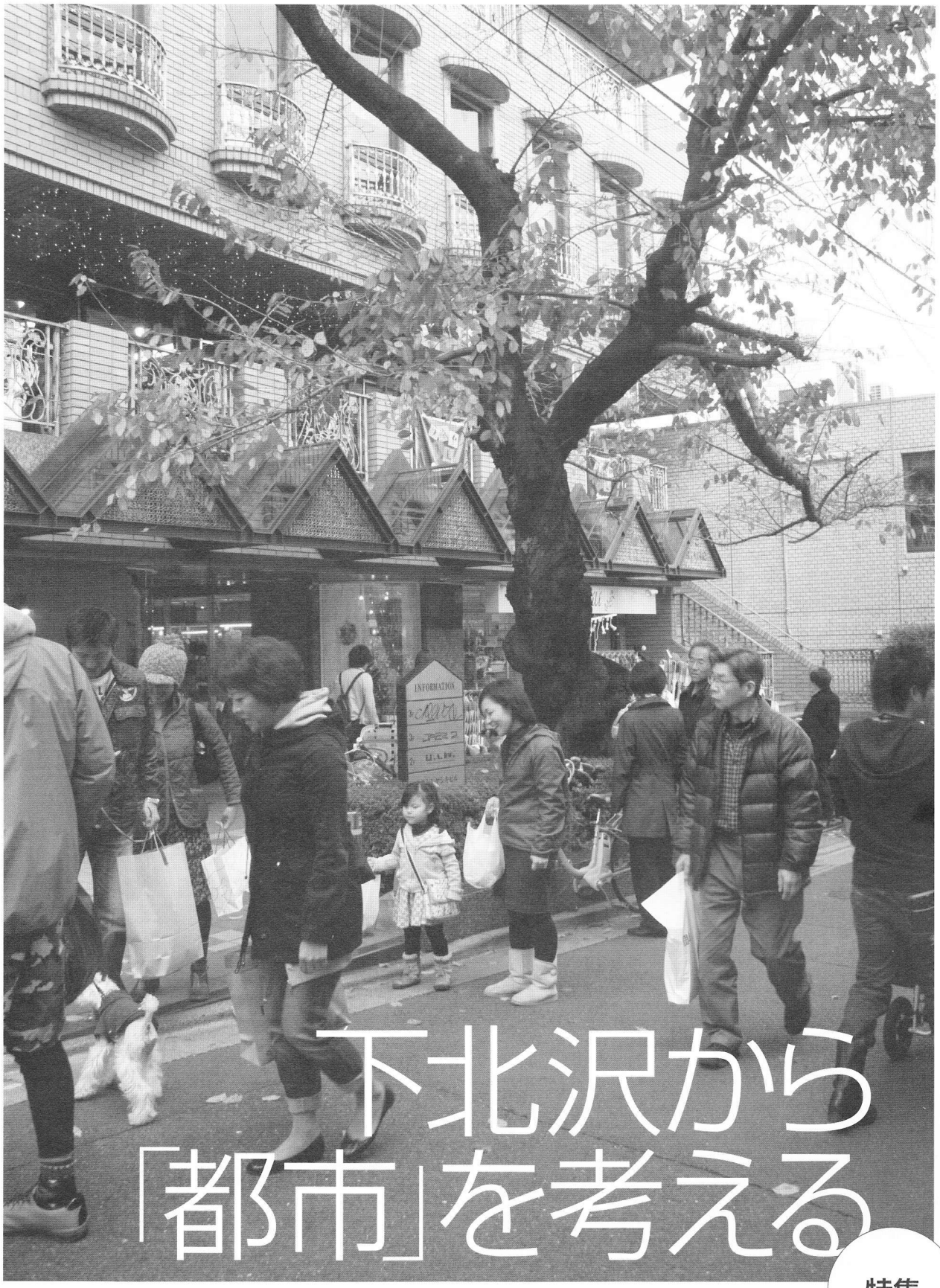
シモキタブランドをつくった人々 7, 13, 19, 26, 35

本多一夫さん／小清水克典さん／清水クルミさん／藤谷 治さん／大木雄高さん

シモキタで、マイクロビジネス 8, 17, 23, 30, 39

yours-store／ウィルステージ／LIBERAL ARTS LAB 好奇心の森DARWIN ROOM／Bear Pond Espresso／ほん吉

back number・information 40



下北沢から「都市」を考える

特集

ジェイン・ジェイコブスは「良い都市」の原則として「街路は狭くて折れ曲がっている」「古い建物が多く残っている」「必ず二つ以上の機能をもつ」「人口密度が高い」といった、四つを掲げている。そして、下北沢という町は、その原則をおおむね満たしているように見える。だからこそ、ここに都市の理想を見る専門家も少なくはない。だが、狭く複雑な街路と、狭小建築が密集する空間構造には、機能面、防災面での課題も指摘される。あたかも毛細血管が張り巡らされたような細街路は、危険性を孕んだカオティックな表情も合わせもつ。そんな下北沢を、果たして都市と呼べるのだろうか。下北沢、その両義的な空間構造を、文化地理学、都市社会学の方法論などを援用しながら解析し、都市とは何か、都市の未来を、考察する。 photo:**佐藤 真**